

復元

保存 整備

鳥取城の真の姿と魅力

「史跡鳥取城跡附 太閤^{つたりたいこう}ヶ平^{がなる}保存整備基本計画」に基づき整備します。

ありし日の鳥取城二ノ丸の櫓（やぐら）群
左から三階櫓・走櫓・菱櫓（鳥取市教育委員会所蔵）

本質的な魅力を蘇らせることを主眼に

昭和32年に国の史跡指定されて以来、本市は、史跡・鳥取城跡とそれに付随する羽柴秀吉の本陣跡である太閤ヶ平の保存・管理を行ってきました。これまで二ノ丸の三階櫓など、特定の建造物の復元が検討されたことはありませんが、鳥取城のもつ本質的な価値を活かすという視点で検討されたことはほとんどありませんでした。

そして、石垣の復元や公園としての施設の維持に多大な労力を払ってきたにもかかわらず、整備のための基本計画がなかったために、鳥取城跡全体の魅力を明確な形で残すことが、時とともに難しくなってきました。

このような状況を踏まえ、城下町を起源とする本市の中心市街地にとって、鳥取城が重要な位置を占める史跡であるという認識に立ち、本市では平成16年度から「史跡鳥取城跡附太閤ヶ平保存整備基本計画」（以下「基本計画」）の策定に取り組みできました。策定にあたっては、市民のみなさんと学識経験者で



検討委員会の様子。議事録は鳥取市ホームページで公開中です

構成する委員会を設け、計画案をとりまとめ、本年1月には市民政策コメントを行い、みなさんからの意見を伺って、このたび市長に報告されました。

この「基本計画」の特徴は、個別の建造物に限定したのではなく、鳥取城の持つ本質的な魅力を甦らせることに主眼を置いたものとなっている点にあります。

性格の異なる文化財が共存している

ひとまとめに「鳥取城跡」と呼んでいます。が、「鳥取城」といった場合、みなさんが最初に思い浮かべるのは、江戸時代に鳥取藩主の居城となった近世の鳥取城ではないでしょうか。しかし、実は、こ